



統計スポット情報

No. 143

20. 2. 12

福井県総務部政策統計課



— 最近の結婚事情 —



バレンタインデーと言えば、日本では主に女性が好きな男性にチョコレートを贈る日ですが、欧米など世界各国では、花束など様々なプレゼントを恋人に贈る「恋人たちの誓いの日」とされています。

そこで今回は、カップル＝「恋人」「夫婦」にちなんで、「結婚」について取り上げたいと思います。

1 晩婚化・未婚化の傾向

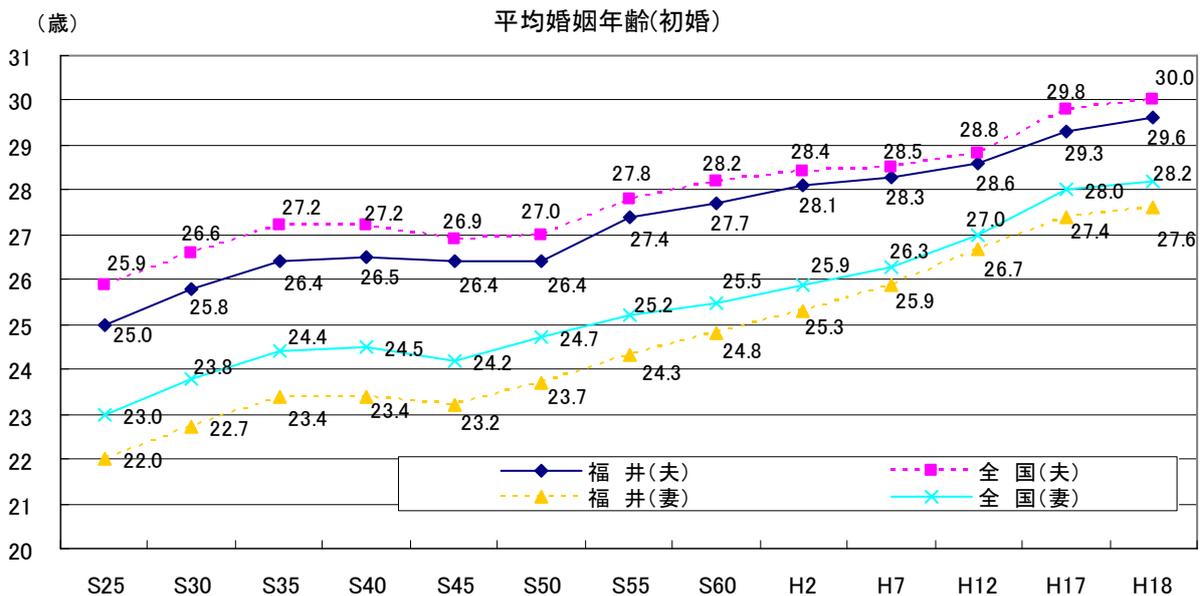
「結婚」と言うと、最近は晩婚化・未婚化が進んでいると言われていますが、福井県ではどうでしょうか？

平均婚姻年齢（初婚）

福井県の平均初婚年齢をみると、全国より低い（若い）ものの、年々初婚年齢が上がっていることが分かります。（図1）

また、男女の初婚年齢の差をみると、昭和45年の3.2歳差が平成18年には2歳差まで縮まっており、女性の初婚年齢が特に上昇しています。

図1



(資料：厚生労働省「人口動態調査」)

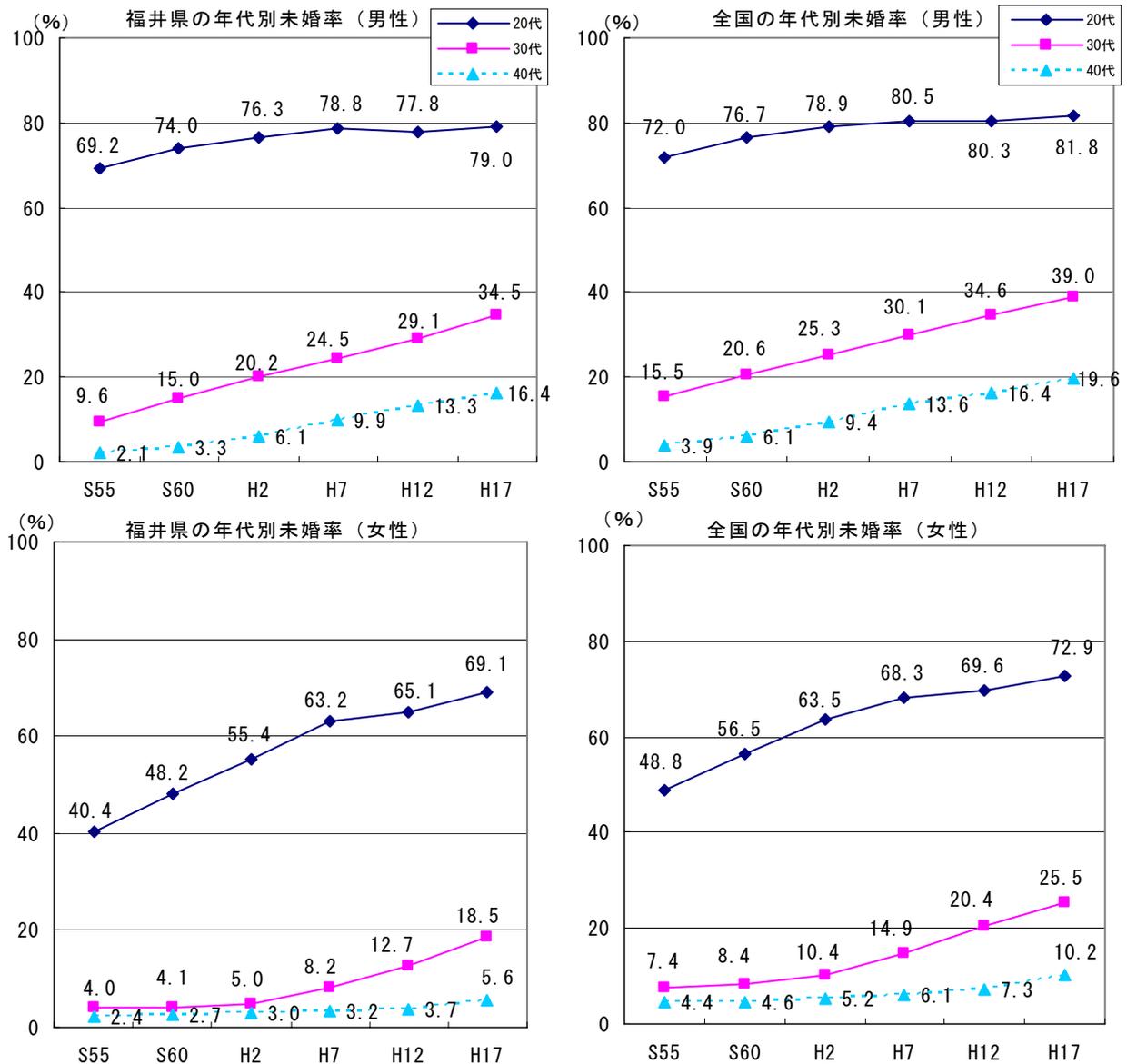
未婚率 (注)

次に、20代～40代の未婚率について福井県と全国を比較してみると、男女とも全国より低いものの、いずれの年代でも未婚率が上昇していることが分かります。

男性は、20代に比べて30代、40代の未婚率が大きく上昇しています。女性は、男性と比較して20代の未婚率が大きく上昇しています。また、平成7年からは30代、平成17年からは40代でも目立った上昇が見られ、未婚率の上昇が20代から30代、40代へとシフトしつつあります。

(注) 未婚率…一度も結婚したことがない人の割合

図 2



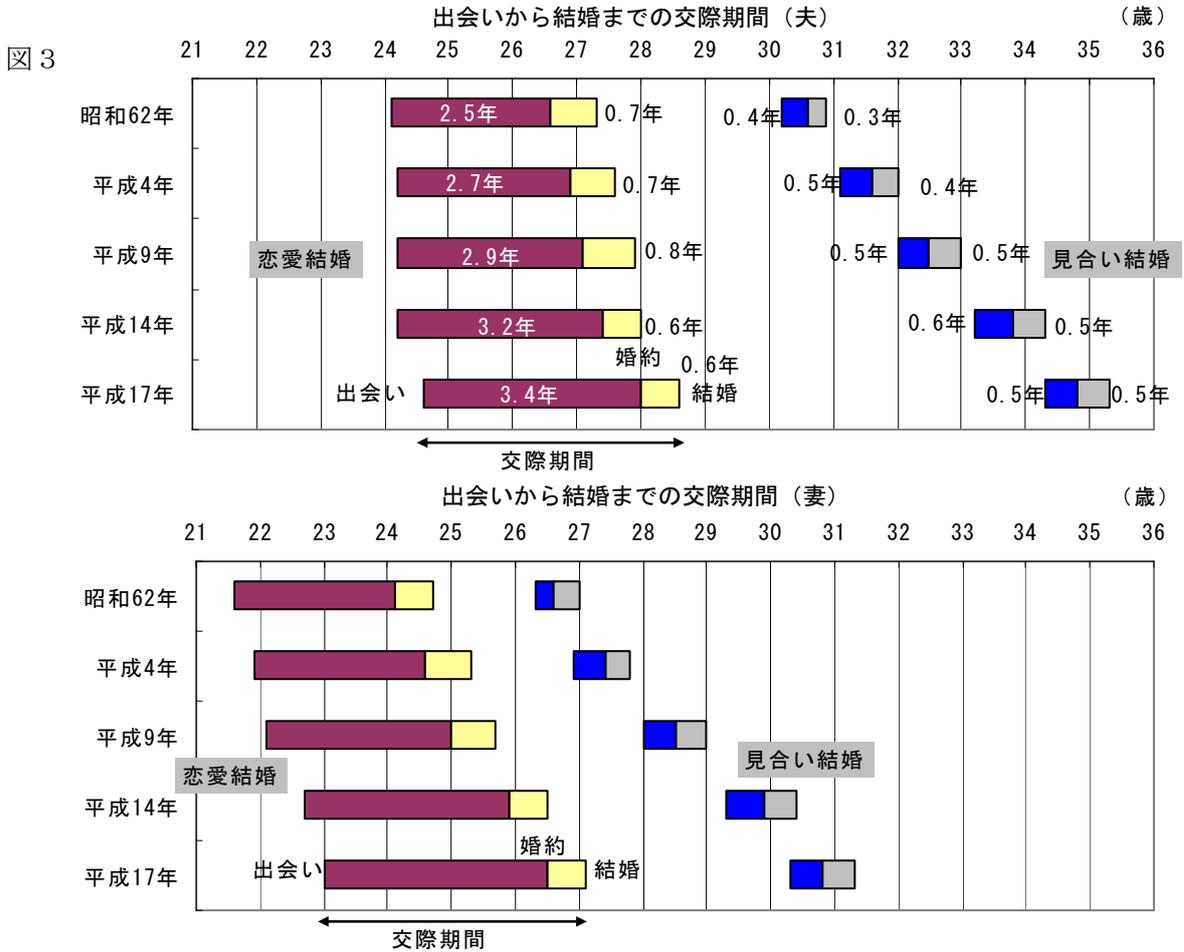
(資料:総務省「国勢調査」)

出会いから結婚までの交際期間

それでは、初婚の夫婦が出会ってから結婚するまでの交際期間についてみていきたいと思えます。なお、この結果は全国結果であり、福井県のみ結果ではありません。

図3をみると、恋愛結婚の場合は、見合い結婚と比べて出会いは早いものの、その交際期間は次第に長くなっています。これは、交際を楽しみたいという最近の傾向を表していると考えられます。

また、男性に比べて女性は、以前と比べて結婚相手との出会いが遅くなる傾向にあります。



(資料：国立社会保障・人口問題研究所「第13回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」)
 一方、見合い結婚の場合は、交際期間の変化はあまり見られませんが、出会いはどんどん遅くなっていることが分かります。

このことから結婚相手との出会いの遅れ、交際期間の伸びが晩婚化の原因の一つと考えられます。

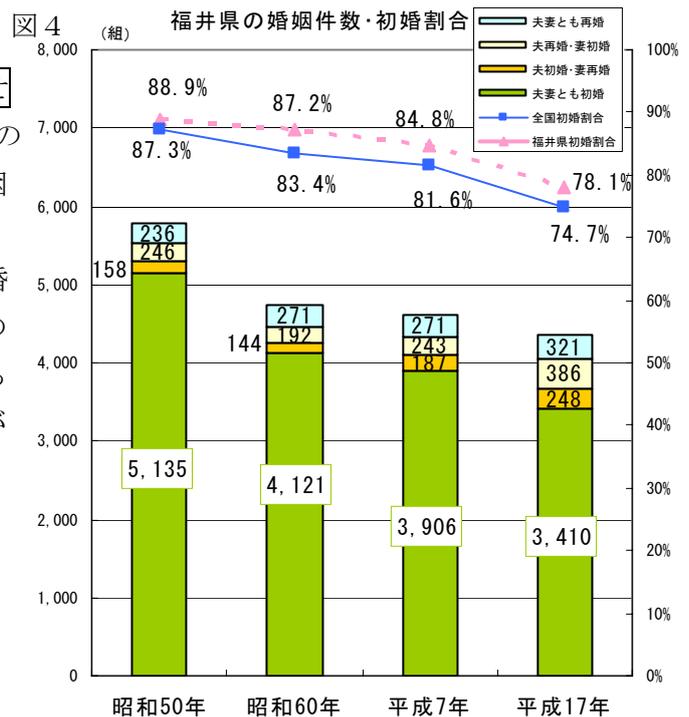
2 結婚の傾向

婚姻件数・夫妻の初婚、再婚の組み合わせ

晩婚化・未婚化の進行により、婚姻件数の減少は全国的な傾向であり、福井県の婚姻件数も図4のとおり減少しています。

それでは、婚姻件数を夫妻の初婚、再婚の組み合わせ別にみると、夫妻とも初婚の割合が減少しており、再婚(夫妻のどちらかが再婚、または夫妻とも再婚)の割合が増えています。

福井県の平成17年の「夫妻とも初婚」の割合は、78.1%となっており、5組に1組が再婚カップルということになります。



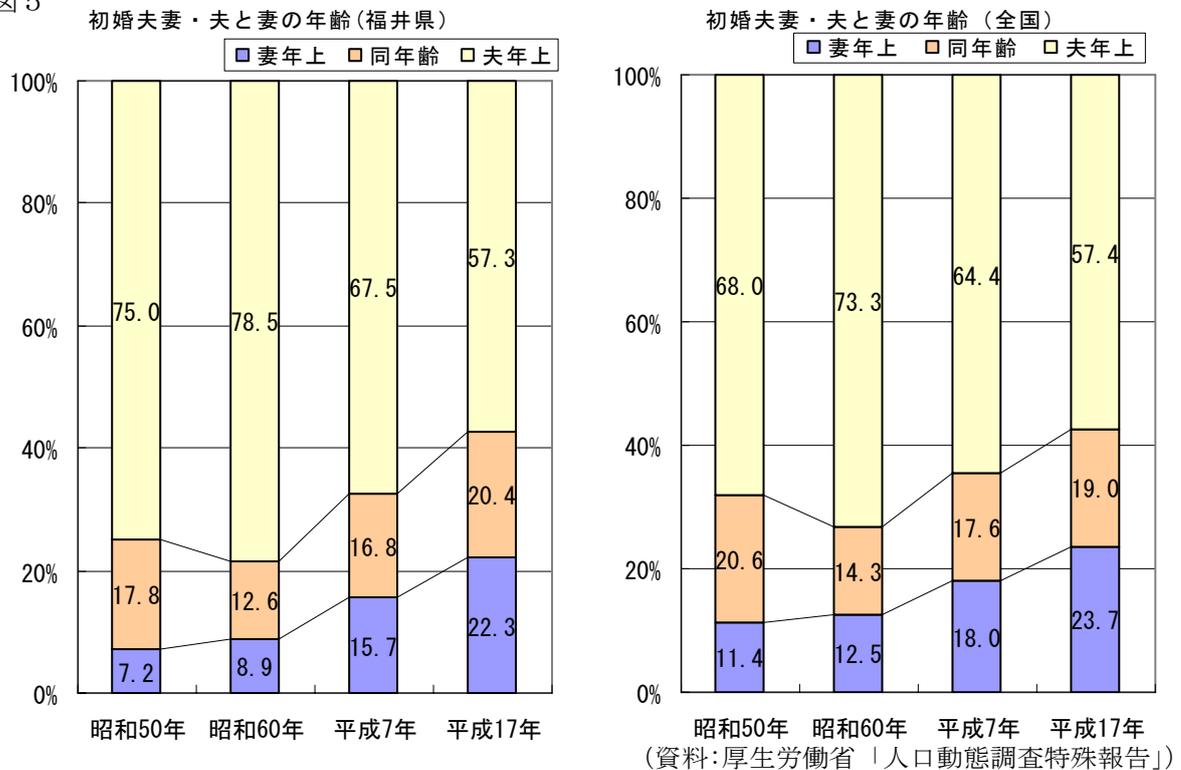
(資料：厚生労働省「人口動態調査特殊報告」)

初婚夫妻・夫と妻の年齢

図5をみると、福井県、全国ともに、夫が年上である割合は依然高く、一方で妻が年上の割合は次第に高くなっています。

福井県では、昭和50年と平成17年を比較すると、妻が年上の割合は7.2%から22.3%の3倍になっており、初婚夫婦の5組に1組が「妻が年上」の夫婦であることが分かります。

図5



届出月別婚姻件数

婚姻届の月別届出数は、表1のとおり、福井県、全国とも11月が最も多く、次いで3月、10月の順で多くなっています。統計的にみても、結婚式はやはり気候のよい月がいいようです。

バレンタインデーのある2月は、福井県は雪の影響か、3番目に少なくなっています。また、全国と比べても下位になっています。

表 1

婚姻件数が多い月	福井県 (件)		全国 (件)	
1位	11月	508	11月	78,608
2位	3月	476	3月	78,358
3位	10月	433	10月	67,894
4位	5月	388	7月	66,170
5位	7月	368	5月	63,088
6位	4月	344	12月	61,803
7位	6月	328	4月	60,370
8位	12月	328	2月	56,466
9位	9月	291	6月	53,872
10位	2月	282	9月	49,298
11位	8月	248	8月	47,750
12位	1月	230	1月	47,294

(資料:厚生労働省「人口動態調査」)

3 福井の結婚式

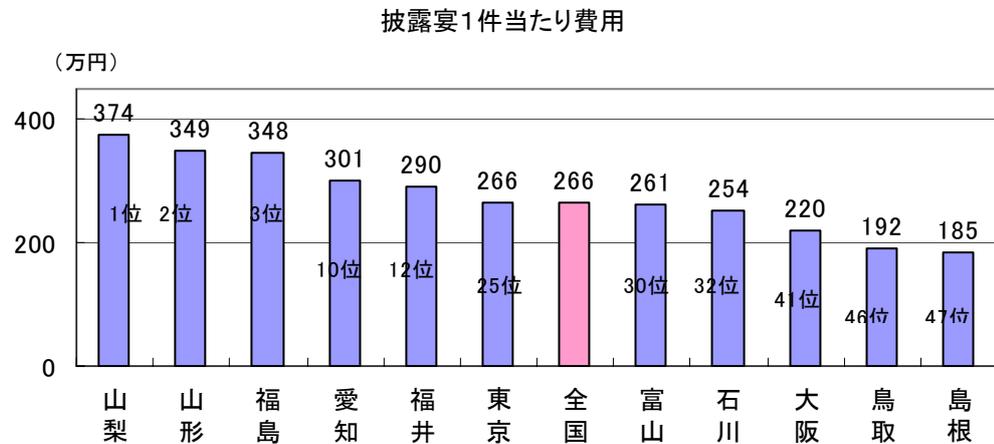
福井県の結婚式といえば、特に嶺北地方では饅頭まきをするなど派手な印象がありますが、最近の福井県の結婚式は、どれくらいの費用をかけているのでしょうか。

平成17年特定サービス産業実態調査において、各都道府県の結婚式場業（挙式・披露宴の両方を行える事業所が対象）の売上額を披露宴件数で除した金額で比較しますと、図6のとおり

り、福井県の披露宴1件あたりの費用は290万円で、全国で12番目に高くなっています。

また、北陸地方の中でも福井県が一番高くなっています。披露宴の形式は多様化していますが、地方では伝統的な披露宴が行われているのでしょうか？

図6

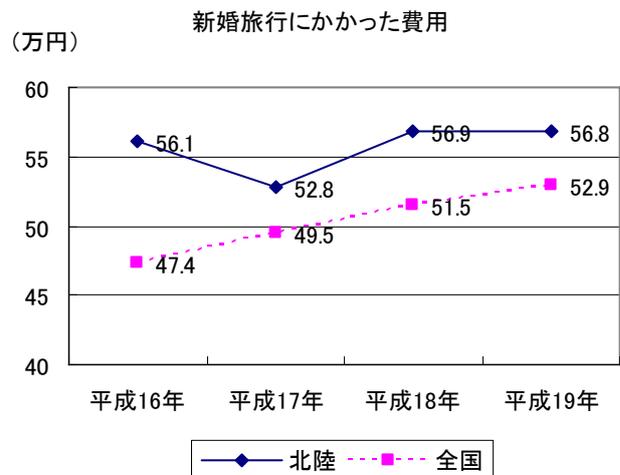


(資料：平成17年特定サービス産業実態調査)

図7

また、北陸地方の「新婚旅行」にかかった費用は、図7のとおり、全国に比べて新婚旅行にお金をかける傾向があると言えます。

新婚旅行の行き先は、全国的に、ハワイ、オセアニア、ヨーロッパに人気が集まっています。(JTB「ハネムーン動向調査(2006)」調べ)



(資料：結婚情報誌「ゼクシィ」(リクルート発行) 調べ)

以上のように、最近の結婚事情についてみてきましたが、やはり福井県でも晩婚化、未婚化が進んでいるようです。それは人生において、いろいろな選択肢が増えてきた結果でしょうか？

また、結婚そのものが価値観の多様化に伴い、十人十色といった様々な形に変化してきているのかもしれない。

何はともあれ、2月14日はバレンタインデー♪日頃の思いをこめて誰かにチョコを贈ってみませんか？一緒にチョコを食べながら、「結婚」について考えてみてはいかがでしょうか。

～担当者コラム～



ここでは、福井の結婚に関する珍しい慣習・風習についてご紹介します。

饅頭まき

嶺北地方では、新郎側の家に集まった近所の人たちに、家の2階から「饅頭」をまく風習があります。これは、近所の方に花嫁をお披露目する意味があり、縁起の良い饅頭（万寿）をまくとされています。



道具運び



福井県や石川県などでは、嫁入り道具をガラス張りのトラックで運ぶことがあります。トラックの荷台の部分がガラス張りになっているので、中身が見えることとなります。これは、どんな道具を持ってきたのかを近所の人にお披露目する意味があり、箆笥の中を着物や衣類でいっぱいにしておく風習の地域もあります。

この他にも地域によって様々な風習があると思いますが、福井の最近の傾向としては、昔ほどの派手な結婚式は減ってきているものの、それぞれにこだわりを持った自分たちだけの結婚式を行うカップルが増えているようです。

この資料内容の照会は政策統計課経済統計グループ（電話 0776-20-0273）へ御連絡ください。